



カラス イソップ物語より

のどがからからに渴いたカラスが、井戸につないであるバケツを見つけました。そのバケツの中には、少量の水があるのですが、どうしてもくちばしが届かず、うまく飲むことが出来ません。カラスは、どうしたらその水が飲めるか一生懸命に考えました。突然いい考えが浮かびました。カラスは、小石を集めそれらを一つずつバケツの中に落としました。するとどうでしょう、バケツの水位が石を入れた分だけ増え、とうとうカラスのくちばしまで届きました。最後まであきらめずに、考えたカラスはのどの渴きを潤すことが出来ました。

モラル：必要は発明の母
どんなに難しいことでも、あきらめずに頑張れば、道は開けます。

*カラスの折図は、[こちらをクリック](#)***

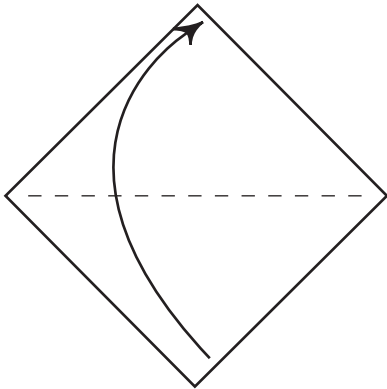
*バケツは、伝承のコップを使用

*太陽は、月刊おりがみ348号参照

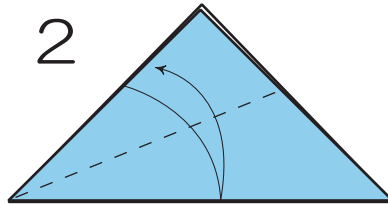


伝承のコップ

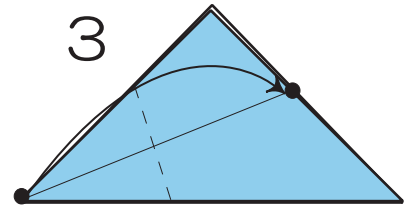
1



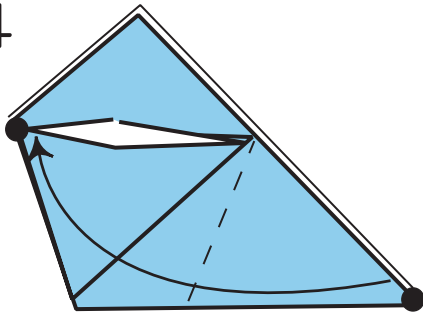
2



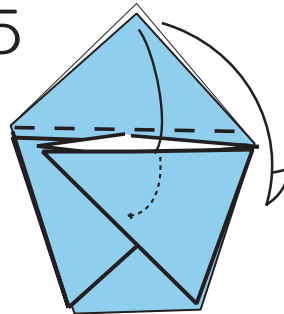
3



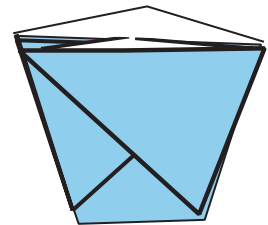
4



5

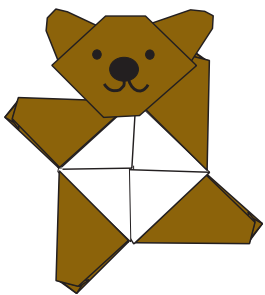


6



前の三角はポケットに入れる、2枚目は後ろに折る。

出来上がり



《アイディア》

このカラスは、実際に石を銜える（くわえる）ことは出来ませんが、パクパクからすのようなカラスは遊べますよ。

こちら参照 [クリック](#)**

